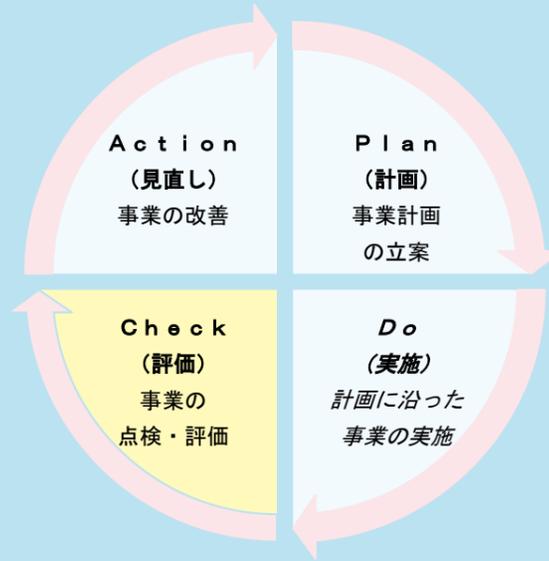


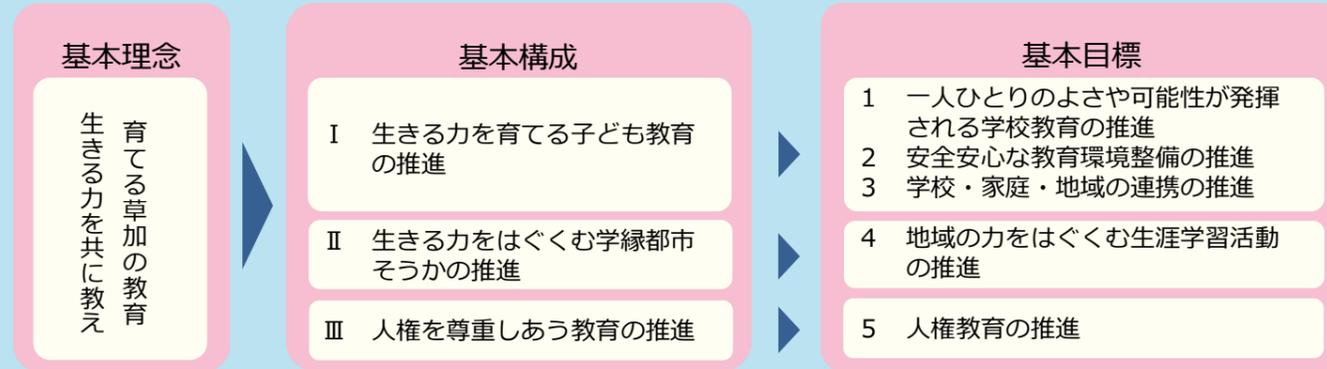
1 点検評価の目的

草加市教育委員会では、第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」（平成28年度～平成31年度）に基づき、基本理念『生きる力を共に教育する草加の教育』のもと、5つの基本目標を掲げ、教育課題に取り組みとともに、教育の振興を図るための具体的な施策を展開しています。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条」の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、平成29年度に実施した教育委員会の事務に関する点検及び評価の結果を取りまとめたものです。



第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」



2 点検及び評価の方法

点検及び評価に当たっては、施策に基づく主な取組の活動内容実績、施策の指標に係る実績値から成果を明らかにすることによって自己評価を行い、課題を明らかにするとともに、次年度以降の取組についてその内容を示し、事務改善を図ります。

点検及び評価の客観性を確保し、知見を活用するため、教育に関し学識経験を有する点検評価委員から、様々なご意見、ご助言をいただきました。

3 点検評価委員（50音順 敬略称）

- ◆武井 一美
元草加市立松原小学校長
- ◆中里 裕一
草加市PTA連合会副会長
- ◆森田 和良
國學院大学栃木短期大学非常勤講師
(前筑波大学附属小学校副校長)

4 総合評価結果一覧

総合評価の結果は次のとおりです。Aと評価したものが5件、Bと評価したものが11件、Cと評価したものと及びDと評価したものはありませんでした。

平成30年度 総合評価		
1-1	学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成	B
1-2	心豊かな児童生徒の育成	B
1-3	健康でたくましい児童生徒の育成	B
1-4	きめ細かな特別支援教育の充実	A
1-5	一人ひとりに応じた就学支援の充実	A
2-1	計画的な学校教育施設整備の推進	B
2-2	魅力ある教育環境の推進	B
3-1	家庭・地域の教育力の向上	A
3-2	組織力をいかした学校経営の推進	B
3-3	子ども教育の連携の推進	A
4-1	生涯をとおした多様な学習機会の充実	B
4-2	生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進	B
4-3	文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進	A
5-1	学校人権教育の推進	B
5-2	社会人権教育の推進	B
-	施策体系外事業	B
		A…5 B…11

総合評価基準

- A：十分に目標が達成された。
- B：相当程度目標が達成された。
- C：目標の達成がやや不十分であった。
- D：目標の達成が不十分であった。



施策1-4 きめ細かな特別支援教育の充実

◇成果目標
特別支援教育に対する正しい理解と指導力、専門性の向上を図り、特別支援教育の推進を目指します。

◇成果指標
教職員における特別支援教育に関する研修受講者の割合

1-4	小学校	中学校
平成30年度実績値	94.1%	79.5%
令和元年度目標値	90%	75%

◇A評価の理由
児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援について、学校と情報を共有し、より適切な教育形態への合意形成に努めるとともに、幼稚園、保育園等との連携を深め、情報の共有や対象児の行動観察を行い、十分な実態の把握を通して、より適切な判断につなげたこと、また、草加かがやき特別支援学校との連携を図り、市内小中学校の教員に対し障がいへの理解と特別支援教育の重要性についての理解を深めることができたことなどから、A評価としました。

施策3-3 子ども教育の連携の推進

◇成果目標
(1) 0歳から15歳までの「学び」「心」を結ぶ幼保小中を一貫した草加の教育の実施により、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子を育てます。
(2) 市内各園と小学校の交流・連携を支援することで教職員がお互いに教育のよさを取り入れ、子どもたちが小学校入学に対して期待感をもてるようにします。

◇成果指標
(1) 幼保小中を一貫した草加の教育の実施校数
(2) 小学校と交流・連携が行われている幼稚園・認可保育園・認定こども園の割合

3-3	(1)	(2)
平成30年度実績値	100% ^(11校)	94.5% ^(52園)
令和元年度目標値	100%	95%

◇A評価の理由
幼保小中一貫教育標準カリキュラムを配布し、0歳からの15歳までの子どもの育ちを見通した保育計画、指導計画の充実を支援できたこと、研究発表会の開催により、幼保小中を一貫した教育に関する取組の成果と課題を市内外の教職員、家庭、地域の方に向けて、周知することができたこと、各中学校区の求めに応じて子ども教育連携教員を配置したことで、各中学校区の効果的な乗り入れ授業の実施を支援できたことなどから、A評価としました。

施策1-5 一人ひとりに応じた就学支援の充実

◇成果目標
(1) 経済的理由により高等学校などへの修学が困難な方へ教育の機会均等や有能な人材の育成を図っていくため、貸付人数の維持又は拡大を図っていきます。
(2) 入学準備金・奨学資金貸付返済率(現年度)を向上させることで将来の貸付金の原資を確保し、支援の必要な方に確実に入学準備金などを貸し付けることを目指します。

◇成果指標
(1) 入学準備金・奨学資金貸付人数(新規・継続)
(2) 入学準備金・奨学資金返済率(現年度)

1-5	(1)	(2)
平成30年度実績値	25人	94.9%
令和元年度目標値	65人	96%

◇A評価の理由
小中学校と緊密に連携し、全家庭に就学援助に係る申請書等を配布し、周知を行うとともに、援助を必要としている世帯に迅速かつ円滑に援助を行うことができたこと、また、奨学資金貸付返済猶予基準を策定し、返済者が、自身の事情にあった返済計画を立てられるようになり、より利用しやすい貸付制度となったことなどから、A評価としました。

施策4-3 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進

◇成果目標
(1) 歴史民俗資料館の企画する講演・講座・企画展・体験講座などを通して楽しく学び、草加の歴史や文化に誇りや愛着をもってもらうため、歴史民俗資料館に訪れる人を増やします。
(2) 歴史民俗資料館において、講座、歴史に関する講演会文化財関連の講座の開催、子どもたちのための体験教室、その他季節ごとの催しを展開し、市民が草加の歴史に誇りや愛着をもてる企画を行います。

◇成果指標
(1) 歴史民俗資料館来館者数
(2) 年間講座等(講演、講習、体験教室)開設数

4-3	(1)	(2)
平成30年度実績値	15,225人	92回
令和元年度目標値	17,000人	84回

◇A評価の理由
国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備計画の策定作業に着手できたこと、草加市制60周年を記念して、「歴史散歩」を開催し、当時の写真を迎えることで、市民が身近な文化財を知るきっかけづくりができたこと、草加松原が国指定名勝5周年を祝した企画展を開催し、図録にまとめることができたことなどから、A評価としました。

施策3-1 家庭・地域の教育力の向上

◇成果目標
(1) 子育てを振り返り、今後の家庭教育について考える機会を提供し、家庭・地域の教育力の向上を目指します。
(2) 将来、親となるために必要なことを学ぶ機会を提供し家庭教育の基盤を作ります。

◇成果指標
(1) 保護者向け「親の学習」講座の実施回数
(①小学校 ②中学校)
(2) 中学生向け「親の学習」講座の実施回数

3-1	(1)	(2)
平成30年度実績値	①100% ②100%	81.8%
令和元年度目標値	①100% ②100%	100%

◇A評価の理由
部活動指導員を配置することにより、部活動の指導体制の充実を図ることができたこと、全小中学校において、避難訓練、引き渡し訓練を実施するなど、防災教育の推進を図れたこと、全小中学校で保護者向け「親の学習」講座を、9中学校で中学生向け「親の学習」講座を実施し、家庭教育が一層充実するよう支援できたことなどから、A評価としました。

